



Open Doors, Open Worlds

－英語で新しい世界へのトビラを開けてみよう！－

English teacher: Sakaue Wataru

◆英語科通信のタイトルをリニューアルしました！◆

亀岡川東学園では、1・2年生で「英語タイム」、3～6年生で特別教科「英語」が設定され、日常的に英語にふれられる環境をつくっています。実は、小中9年間を通じて英語が勉強できる学校は京都府ではほとんどありません。なぜ、この学校ではそんなにまで「英語」に力を入れているのでしょうか？

それは、英語を学ぶことは、考え方や文化の違ういろんな世界にふれ、いろんな世界を自分の中につくり出すことにつながるからです。そんな意味をタイトルに込めてみました。

「え、どういうこと？」と思った人もいるかもしれません。その答えは、みなさん自身が、英語を勉強するなかで見つけてくれるとうれしいです。この英語だより Open Doors, Open Worlds では、本学園での英語学習の取組をクローズアップするとともに、みなさんの世界を広げる視点を取り上げていきたいと思います。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

◆カリフォルニア州立大学の留学生と交流しました！◆

6月12日に、カリフォルニア州立大学から約15名の留学生が本学園を訪れました。ステージごとに交流したり、教科の授業を一緒に受けたりしました。

1st ステージの交流では、ジャンケン列車やドッジボールをして一緒に遊びました。スポーツや遊びは、言葉を交わさなくても笑顔になれるから不思議ですね。1st ステージのみなさんと一緒に遊んで、留学生もとても楽しそうでした。

2nd ステージの交流では、学んだ英語表現を使って「フルーツバスケット」をしました。What fruit do you like? – I like peaches! 英語を話せることはもちろん、相手が話す英語を聞き取れなければ楽しめないゲームです。写真ではみなさんで楽しんでいるようですね。ということは・・・☺ 普段学んでいることは、着実にみなさんの力となっています。ぜひ、できるようになることを楽しみながら、英語を勉強してみてください。



1st ステージの交流の様子



2nd ステージの交流の様子



次回、No.2 では、3rd ステージでの交流の様子を紹介する予定です。See you Next time!